

● 使用材料・使用器具

使用材料

キクスイ 15kg/缶  
 プライマースーパーE  
 グラナダF 20kg/缶  
 専用骨材1厘 20kg/紙袋

使用器具

計量 秤  
 基層塗り リシガン  
 模様塗り リシガン

● 標準施工仕様

(23°C、50%RH)

工程	使用材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗り 回数	工程間隔時間(hr)		備考
					工程内	工程間	
下塗り	キクスイ プライマースーパーE	15kg 無希釈	0.1~0.19	1		3以上	エアレススプレー等
基層塗り	グラナダF	20kg	0.6~0.7	1	—	6以上	リシガン 口径:3~4mm 吹圧:0.5~0.6MPa
	清水	2~3kg					
模様塗り	グラナダF	20kg	0.5~0.7	1	—		リシガン 口径:4mm 吹圧:0.5~0.6MPa
	専用骨材1厘	10kg					
	清水	2~3kg					
養生撤去	養生シートなどの撤去を行う。				—	直後又は 乾燥後	
最終養生	施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。				—	24以上	

● 標準施工要領

0. 注意点

- ①じゅらくパターンは特に薄塗り仕上げであり、下地は特に平滑であること。
- ②じゅらくパターンは特に薄塗り仕上げであり、下地は特に吸い込みムラのないこと。
- ③じゅらくパターンは特に薄塗り仕上げであり、乾燥が速いため、施工面積や、日光など考慮し、吹き継ぎムラがでないように施工する。
- ④この意匠の用途としては、内壁を主とし、外部は軒天、アクセント使用程度とする。

1. 下塗り

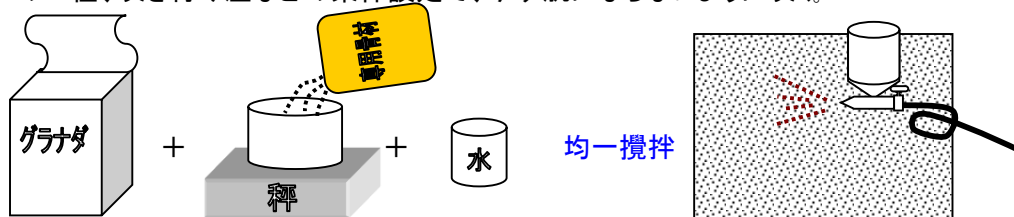
- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

2. 基層塗り

- ①開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシヤクなどを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシガンで吹き付ける。できるだけ平滑に吹く。

3. 模様塗り

- ①主材は定められた仕上がりになるように指定された骨材と清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ②模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量をじゅらく調に吹き付ける。
- ③希釈、ガンの口径、吹き付け圧などの条件設定で、ゆず肌にならないように吹く。



4. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ②外部施工で、施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。